

令和6年度 国富町立八代中学校 学校関係者評価

4段階評価 4－そう思う 3－ややそう思う 2－あまりそう思わない 1－そう思わない ※一分からない

項目	具 体 的 な 行 動 内 容	評価平均			自己 評価	自己評価コメント (○成果 ●課題)	学校関係 者 評 価	学 校 関 係 者 評 価 コ メ ン ト
		生徒 (51/58)	保護者 (50/58)	職員 (9)				
学 習 指 導	1 学校は、生徒一人一人の理解度を把握し、個に応じた指導を行うことにより、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図っている。	3.1	2.7	3.4	3.1	○朝自習を活用し、個に応じた指導を行うことができた。 ○グループ学習を通して学び合いの時間を設けたり、個別に指導を行ったりして、指導の充実を図った。 ○ビブリオバトルなど読書推進活動を行い、貸出冊数が増え、本を読む生徒が多くなった。 ●ICTを積極的に活用する機会が増え、生徒のスキルは向上したが、学力向上にはつながっていない。(同意見複数) ●授業における個別指導だけでは学力向上を図ることができていない生徒については今後さらに検討が必要である。 ●ICT活用が増えたため、「書く」ことが減った。そのため、漢字などが書けないという弊害が起きている。「書いて覚える」など、書かせる場面も多く取り入れる必要がある。 ●授業で理解できていても定着を図るまでには至っていない。個別の課題には家庭の協力も必要だが、家庭学習の習慣化が難しい。	3.5	・生徒数が少ない分、個別指導が充実していると感じる。 ・ビブリオバトルなど本に親しむ工夫がなされている。 ・学力が伸びない原因として生徒の競争心があまりなく氏やの狭さがあるのではと思われる。家庭の協力が不可欠なので学校として働きかけが必要である。 ・ICTが大切であると同時に文字を書くこと、特に漢字力が低下する点については、書いて覚える場を増やしていく努力が必要である。 ・先生方のアイデアあふれる教育法や熱意を感じました。いずれ大きな実りとなり成果として表れることと思います。
	2 学校は、ICTの効果的な活用に取り組み、それを活かしながら授業の工夫・改善を行うことで、生徒の学力向上に役立てている。	3.3	2.9	3.2	3.1			
	3 学校は、読書の時間を設定し、ビブリオバトルの実施や積極的な図書館利用による読書活動を推進している。	3.7	3.2	3.9	3.6			
	4 学校は、各種作品応募等に積極的に取り組ませることで、生徒の自信や感性を高め表現力を育んでいる。	3.3	2.9	3.5	3.2			
	5 学校は、キャリア教育を推進し、生徒は自分の将来に夢と希望を持ち、学習に取り組むことができている。	3.3	2.4	2.5	2.7			
生 徒 指 導	1 学校は、生徒会や委員会活動、ボランティア活動等の推進と活性化を図っている。	3.6	3.1	3.3	3.3	○朝のあいさつ運動など生徒会を中心に積極的に行うことができた。能登半島地震の災害義援金では、生徒会が呼びかけ多くの義援金が集まった。○各委員会活動が活性化し、様々な活動を行っている。 ○毎月のいじめアンケートと「いじめ・不登校・特別支援対策委員会」の実施や週に1回の生徒理解の時間を確保するなど、いじめのない学校づくりに取り組んでいると思う。 ●家庭でのスマホ等の使用について、様々な機会を通して啓発活動を行っているが、使用時間が平日・休日ともに数時間使用という生徒が多かった。今後も引き続き家庭と連携して啓発活動を行っていききたい。 ●学校保健委員会(今年度12月12日に実施)がインフルエンザの流行時期と重なったため、出席率が低く残念であった。 ●来年度は学校保健委員会の開催時期を変更した方がより出席者が増えるのではないかな	3.8	・八代中学校の生徒はあいさつをしっかりとっていると思います。コミュニケーションの上で大切な役割ですので継続して欲しいと思います。 ・いじめについては、まだまだ隠れているところがあると思われますので、生徒や家庭との連携に努めて欲しいです。 ・八代中はあいさつがとてもよくできていると思います。
	2 学校は、アンケートや教育相談などを定期的に行い、いじめのない学校作りに取り組んでいる。	3.7	2.6	3.8	3.4			
	3 学校は、学活や集会、講演会等を通して、生徒にスマホやインターネット等のメディアの正しい利用の仕方を身に付けさせている。	3.3	3.0	3.4	3.2			
	4 学校は、学級担任を中心として、道徳の授業や「いのちの大切さを考える集会」などを通して、の育成に取り組んでいる。	3.5	3.0	3.3	3.3			
	5 学校は、生徒に時と場に応じたあいさつや言葉遣いが身に着くよう指導している。【毎月1がつく日「あいさつ運動の日」】	3.7	2.9	3.4	3.3			
保 健 安 全 指 導	1 学校は、体力テストの結果を分析し、学年の実態や個人の課題を明確にした体力向上プランを作成し体力の増進のために実践を図っている。	3.4	2.8	3.1	3.1	○毎月の自転車点検や毎日の交通安全タスキ着用確認などの積み重ねもあり、生徒たちの安全意識が高いと言える。 ○「お守りづくり」を通して、交通安全意識が高まっている。八代中の伝統として続けてほしい。 ○交通安全指導や避難訓練では、それぞれの関係機関(警察署・消防署)から職員を派遣してもらい、専門的な立場から指導を行うことができた。 ○給食指導では、委員会を中心に呼びかけを行い残債はほとんどない。 ●体力テストの結果から、「持久力」が低いということで体育の授業では、毎回持久力を高める運動をしているが、向上とまでは至っていない。 ●安全点検の実施や給食指導について、保護者にも学校の様子がわかるように保健だよりや食育だよりで発信していきたい。 ●年度当初に自転車転倒事故が多発した。自転車に乗り慣れていないことも原因の一つであるので、小学校と連携して、もしくは家庭との共通理解などとして取り組めることがあるのではないかなと思う。	3.7	・中学校で急に自転車通学となり事故が増えるのは仕方ないとはいえ、やはり安全教育を生徒やその家族に何度も行う努力が必要であると思われました。 ・車でのお迎えが多く持久力が低下するのは当たり前だが、毎日の体力づくりに力を入れて欲しいと思いました。 ・先生方や保護者の皆様が日頃より意識していただいておりますので、生徒にもその姿勢がしっかり感じ取ってもらえていると思います。
	2 学校は、常に危機管理意識をもち、定期的な安全点検や避難訓練を実施することで、万一の災害等に対する備えに十分取り組んでいる。	3.6	3.0	3.5	3.4			
	3 学校は、食育を推進するために日常の給食指導や「弁当の日」(本年度は3月8日予定)の実施、食に関する指導の充実を図ることにより、生徒に食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせている。	3.6	2.9	3.4	3.3			
	4 学校は、毎月の自転車点検や「お守りづくり・配布」などの活動を通して生徒の交通安全に対する意識を向上させ、特に、自転車事故を防ぐための指導を徹底している。	3.8	3.3	3.8	3.6			
	5 学校は、生徒に「早寝・早起き・朝ごはん」や身だしなみなどの保健・衛生的な習慣が身につくよう指導している。	3.4	3.2	3.2	3.3			
そ の 他	1 学校は、家庭や地域(国富町)の人材を活かし、家庭や地域との連携体制づくりに努めている。		2.6	3.2	2.9	○学級通信・学校通信を定期的に発行し、学校の様子を保護者に伝えている。また、ホームページや図書だより・保健だよりなど、それぞれの担当から必要に応じて情報を発信している。 ●生徒から保護者へ文書が届いていない家庭もあるため、学校通信等を安心・安全メールで送るなどの手立てが必要である。	3.6	・安心安全メールの活用で、保護者への連絡を徹底していることを評価したい。 ・いつか生徒の皆様が大きくなった時に、小学校や中学校の先生方に感謝すると思います。 ・八代中の卒業生として、小規模校でないといけない、先生と生徒のふれ合いを含めた交流を今後もずっと続けていただきたいと願っています。
	2 学校は、学級・学校通信やホームページの更新を通じて、保護者・地域への情報発信をよく行っている。			2.8	3.4			